

# 上林古墳と末松古墳

古墳時代の終り頃になると富奥地区では、次第に人々の営みが活発になります。そしてこの地にも古墳が作られるようになります。

これまでに富奥地区では上林古墳と末松古墳の2つが見つかっています。上林古墳は、墳丘<sup>ふんきゅう</sup>部分は田地としてすでに削平<sup>さくへい</sup>されており、発掘調査により横穴式石室の一部が見つかっています。また、末松古墳は末松のおおえはちまん<sup>おおえはちまん</sup>八幡神社<sup>けいだい</sup>の境内にあります。中央部分は削平されていますが、参道<sup>さんどう</sup>の両側に墳丘の名残<sup>なごり</sup>をとどめています。

古墳の埋葬者は不明ですが、この地を治めた有力者と考えられ、有力者の組織した労働力によって、この地の開発と古墳の築造<sup>ちくそう</sup>が進められたのでしょう。



上林古墳 横穴式石室



末松古墳